

2022年度上半期 豊岡市障害者自立支援協議会「こども部会」報告資料

メンバー	部会長：福田 寛子（豊岡市健康増進課 およこ支援室） 副部会長：稲津 慎也（北但広域療育センター 支援課長） 部会員：森 由佳（障害者相談支援事業所）、島田真弓（出石精和園ぼけっと）、大野 直人（そらまめはうす）、古川 晴次（ひみつきち）、西村 徹（スローウオーク）、磯 智子（豊岡市社会福祉課）、田中 美智子（障害者基幹相談センター）	会議	1回(6/3)、2回(8/12)、3回(9/29) 予定
------	--	----	------------------------------

期	現状 と 課題	今年度の方針	部会での取組	見えてきたこと	下半期の取組方針
上半期	・子どもの成長や発達に悩みのある保護者が孤立しないよう、またその悩みや不安感等を軽減することができるような保護者同士のつながりの場が必要である。	・保護者同士の横のつながりを広め深める場として「お話カフェ」を年間4回、開催する。	9/9（金）らみい（障害や特性のある子どもの放課後の過ごし方） 参加者：7名 スタッフ：4名 ※毎回テーマを決めて、チラシを作成した	・気管切開のあるお子さんの放課後等デイサービスの受け入れ先がない。 ・視機能訓練ができる場所がない。養父市はジョイビジョン南但を利用される方に補助がある。	10/23（日）ひみつきち（子どもの進学や就労等、進路選択における心構えと情報提供） 11/16（水）そらまめはうす（小中学校の就学、進学についての情報提供） 12/12（月）立野庁舎（思春期、どう対応する？） ※平日仕事をしている方が、参加しやすいように日曜日の開催を計画
	・事業所間・相談員間での情報共有や連携が必要である。	・児童に係る事業所間の情報交換会を実施する。	情報交換会 日程：令和4年7月7日（木）参加者：22名（予約は26名） 内容：児童通所支援利用マニュアルを使って、各事業所の特徴を発表、関係機関との連携等の困りごとについてグループワーク	①発達障害児の早期発見・早期療育の効果で、児童発達支援が一杯になっており、待機者が出ている。 ②保護者の同意のもとに、学校と事業所が情報共有できる仕組みを検討する	①療育卒業後の受け皿とスムーズに療育に繋がる仕組み作りを検討する。 ②サポートファイルの活用や保育所等訪問事業を含め、学校と事業所の連携について、実態を把握する